

<ヤマガラ> 木の実をつかむ器用な脚と人慣れする性格。おみくじ引きで活躍したことも。

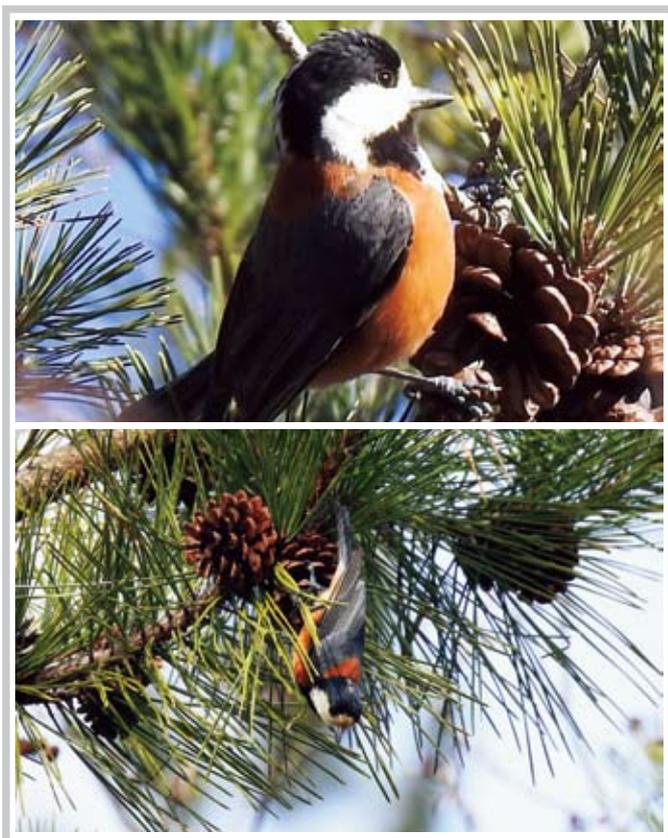
全長14cm。背・翼の上面は灰色、腹は褐色。頭は黒色と白っぽい淡い褐色の模様です。体の大きさに比較し頭でっかちで尾は短めです。ほぼ全国に生息しています。

留鳥りゅうちょうまたは漂鳥ひょうちょうで平地から山地の林で観察でき、「陶史の森」の中でも観察できます。繁殖期以外は小群で生息し、シジュウカラなどの群れに混じっていることもあります。一年中、同じつがいで同じ場所に生活する個体もいます。繁殖期となる4～7月頃にはキツツキの古巣などの穴で営巣し、コケや草を組合せ、獣毛などを敷いた皿状の巣に卵を産みます。

木の枝から枝へと飛び移って、木をつついて昆虫類を採食したり、木の実を採食したりし、貯蔵もします。昆虫類やその幼虫も食べますが堅い木の実も食べます。エゴノキの実を特に好み、秋にはくちばしでたたいて穴をあけ、中身を食べていることがよくあります。この姿が愛らしいと人々から好かれてきました。

ヤマガラは、人なれする性格があり、学習能力が高く賢い鳥です。江戸時代から昭和後期までは、ヤマガラにおみくじ引きをさせていた記録が残っていますが、現在は、野生の鳥を捕獲することは禁止行為です。

留鳥、漂鳥など、幾種類もの野鳥が冬の「陶史の森」で生活しています。バードウォッチングがとても楽しい時期になりました。



森の日記

秋の『天体教室』
10月5日(土)

秋の「天体教室」が11人の参加により開催されました。この日は夜も快晴で、天体観測に適した天候となりました。午後7時に第2駐車場に集合し、土星や月、美しい恒星の観測を行いました。写真は、土星の模型を用いて講師の先生から説明を受けているところです。観察と説明により、天体についての理解を深めることができました。



教室のご案内

12月
バードウォッチング(自由参加、雨天中止)
12月22日(日) 午前9時～11時30分
初冬の野鳥を観察します。

1月
バードウォッチング(自由参加、雨天中止)
1月26日(日) 午前9時～11時30分
冬の野鳥を観察します。

冬季は木々の葉っぱが落ちているので、野鳥を観察するベストシーズンです。ネイチャーセンターでは、双眼鏡を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

休園のお知らせ

12月29日(日)～1月3日(金)は、
休園します。

